

坂井えつ子

のつながる小金井通信



今後の議会日程 (予定)
8月10日 広報協議会
8月21日 総務企画委員会
8月23日 行財政改革推進調査特別委員会
8月28日 議会運営委員会
8月31日～10月5日 第3回定例会

どなたでも傍聴可。Youtube中継もご活用ください

閉会中の議会 & 活動 報告号 Vol.25

発行日：2017年8月7日 発行：坂井えつ子とつながる小金井の会

(仮称) 新福祉会館の建設場所が“庁舎建設予定地※1”に決定。

“地域共生社会実現の拠点”を掲げるも、 入る予定だった障がい者施設等は外れる

8月1日 庁舎及び福祉会館等建設調査特別委員会を傍聴

はずれる障がい者施設の現状と課題

福祉共同作業所

旧福祉会館閉鎖に伴い、JR東小金井駅東側の高架下に仮移転。市政センター設置予定地のため、今後、同場所での維持は困難。

方向性決定後の7月下旬に行われた利用者や保護者への説明では、「残念」「更なる移転よりは今の場所が良い」等の声。

精神障害者 地域生活支援センター

面積が狭いことが従前からの課題であることは市も認識。

先日、現場を拝見しお話しも伺いましたが、利用者の方の相談や面接を行う個室もなく、事務スペースも狭小。

小金井市の事業を委託していることもあり、適正面積の確保は必須です。

市の説明

地域共生社会は、拠点ですべてが終わるということではない。重要な機能と認識しているが、必ずしも新施設にしなければならないという判断には至らなかった。それぞれ、担当課で丁寧に調整していくと考える。



「入らない施設をどう配置していくか」の先行きが全くみえません。このままでは、障がい者福祉のさらなる後退を招きかねません。ほか旧福祉会館内にあった公民館本館など外れる機能をどう配置するのも要です。

※1 中町三丁目。リサイクル事業所があるところ。ジャノメ工場跡地

8月3日 厚生文教委員会を傍聴

財政負担軽減を優先？サービスの議論は後回し!? 市長答弁少なめ

公立保育園3園が民間移譲。

2020年4月～くりのみ保育園、さくら保育園。わかたけ保育園の年次は未定

質疑を聞いた坂井の理解は…

- ▶ 公立園の維持管理は、一般財源のため市の負担が大きい。ゆえの民間移譲
- ▶ サービス維持確保についてはこれから
- ▶ 公立保育園運営協議会や保護者には今後説明し、意見をきく
- ▶ 理解が得られなければ、スケジュール通りにいかない (@市長答弁)



この間、公立保育園運営協議会を傍聴してきました。現状の説明はしていますが、委員の意見を聞いているのかは甚だ疑問です。子ども達が育ち、いのちを預かる場でもある保育園。満足度の高い公立保育園を民間移譲するならば、丁寧な説明や意見交換は欠かせません。政策決定に係ることなのに、市長答弁が少ないことが気にかかります。ご自身の言葉で語り、議会での理解を得られないようでは、保護者の方の理解も得られないのでは？



新都市の“若者議会”を視察

(7月10日・愛知県新都市)



“若者議会”とは、市の附属機関で、予算提案権1,000万円で政策を作る若者集団のことで、市長公約に掲げられており、今期で3期目を迎えます。市長が変わっても事業が継続するよう、若者条例や若者議会条例も制定されました。シルバーデモクラシー※という現状。これから迎える人口減少社会を担っていくことになる若者世代の声、小金井には必要です。

※ 有権者における若者割合が低く、若者に不利な政策になりやすいこと

LGBT自治体議員連盟が発足

(7月27、28日・LGBT自治体議員連盟研修会)



ゲイやトランスジェンダーであることをオープンにしている自治体議員を中心に、7月6日発足した「LGBT自治体議員連盟」。研修会の参加者は100名を超えました。

“当事者”の課題ではなく、社会の認識の問題。地方から変えて、国の制度も変えていこうというお話に力づけられました。

小金井市第5次男女共同参画行動計画には、“LGBT”という言葉が明記されていますので、具体的取り組みが必要です。

お知らせ

NWECでのワークショップに パネラーとして登壇します

政策決定の場にもっと女性を

国立女性教育会館 NWEC (ヌエック) では、毎年、「男女共同参画推進フォーラム」を開催しており、今年の日程は8月25～27日。

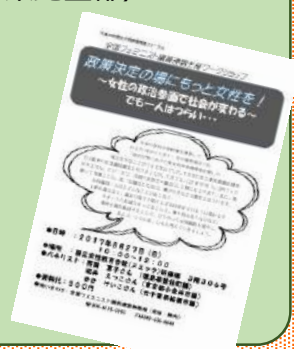
27日にフェミニスト議員連盟が主催するワークショップ「政策決定の場にもっと女性を！」に、坂井がパネリストとして登壇します。

日時：8月27日 10～12時

場所：国立女性教育会館（埼玉県比企郡）
研修棟 3階306号

パネリスト：西岡恵子さん
(徳島県藍住町議)
まきけいこさん
(元千葉県船橋市議)
と、坂井えつ子

資料代：500円



<坂井えつ子 プロフィール>

●1980年大阪生まれ。緑町に転入、現在は桜町在住。緑小、緑中、小金井北高、日本大学法学部卒業●日本福祉教育専門学校入学●2015年市議補選で初当選●2017年再選。建設環境委員会、行財政改革推進調査特別委員会(副委員長)、広報協議会委員会●三多摩上下水及び道路建設促進協議会 第3委員会(道路)、小金井市土地開発公社評議員会評議員会●市民自治こがねい、全国フェミニスト議員連盟、緑の党、市民自治をめざす三多摩議員ネットワークなどに参加。

気になるトピック

来年度から小学校の道徳が教科化

(7月25日・教育委員会)

学習指導要領の改訂に伴い、これまで教科外の活動として位置づけられた道徳が「特別の授業 道徳」として教科化されます。

2007年に、道徳の教科化が検討されるも「子どもの道徳心に成績をつけること」に反発する意見が多く見送られるも、2011年に中学生がいじめで自死したこと等から道徳の教科化に至りました。

小金井市教育委員会での教科書採択では「学習指導要領も押し付けは禁止、他の児童と比較評価するものではないとしている」「まなぶべきことは多くあるが、“いのち”の大切さが一番である」との意見ができました。

どの教科書を使うかも大切ですが、どのように授業を進めるかが要となります。坂井も、多様な価値観を尊重することが重要と考えます。

ご意見・ご感想お寄せください

坂井えつ子 連絡先 中町4-17-11-1F

TEL：090-1796-7652

Mail：info@sakaietsuko.com

坂井えつ子

検索

坂井えつ子

オフィシャルサイト

Blog

坂井えつ子の市議会ホーコク

